

平成 21 年 9 月 11 日(金)

環境保全活動の積極的な取組みについて

株式会社トマト銀行(取締役社長 中川 隆進)は、中期経営計画「トマト MOTTO² プラン」(平成 21 年 4 月～平成 24 年 3 月)の重点施策に「環境への配慮」による地域社会への貢献を掲げております。

このたび、環境保全活動に対する当社の基本的な考え方を明確化するとともに、環境保全活動を体系的かつ継続的に実施するため、下記のとおり環境方針、環境目的・目標を制定し、環境保全活動に積極的に取り組むことといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 「トマト銀行環境方針」の制定

(1) 基本理念

トマト銀行は、豊かな水と緑に恵まれた故郷の自然を守り、次世代へ引き継いでいくことは、地域金融機関としての社会的責務であるとの認識のもと、全役職員参加による環境保全活動への取組みを、積極的かつ継続的に行ってまいります。

(2) 基本方針

- ① 環境に関連する法律および当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- ② 環境マネジメントシステムを構築し、具体的な環境目的・目標を定めて、環境保全活動の継続的な改善に努めます。
- ③ オフィスでの省エネルギー・省資源およびリサイクル活動を推進し、環境への負荷を低減します。
- ④ 環境に配慮した商品・サービスの提供を通じて、お客さまの環境保全活動を支援します。
- ⑤ 役職員一人ひとりが、この環境方針を理解し、環境方針に沿った行動をすべく啓発活動を推進します。
- ⑥ 環境保全への取組みを内外に公開することで、社会とのコミュニケーションに努めます。

(3)環境目的・目標(平成21年度～23年度)

環境目的	環境目標	数値目標
① 業務を通じた環境への取組み	● 環境関連金融商品(環境ローンや環境関連預金など)の拡充と積極的な提供	—
② 当社オフィスにおける環境配慮活動の推進	● 紙、電力使用量の削減 ● 廃棄物の減量とリサイクル化推進	平成20年度比 △10% (削減・減量)
③ 地域における環境配慮活動の推進	● 緑化運動等地域の環境配慮活動への積極的な参加	—

- 「環境目的」は、環境方針を実施していくうえでの中期的な目標です。
- 「②当社オフィスにおける環境配慮活動の推進」については、現状の設備を前提とし、役職員の環境保全に対する意識を高め、業務改善を図ることにより数値目標の達成を目指します。
- 業務改善とともに、省エネ設備の導入など環境配慮活動を進めることで、向こう10年間では平成20年度比25%程度の大規模な削減・減量が可能であると試算しております。
- 環境目的は、年度末に当該年度の実績を踏まえたレビューを通じて、その妥当性を検証し、必要な場合は見直すこととしています。

2. 当社のこれまでの主な環境保全活動

平成18年11月	オリックス株式会社と提携した環境融資制度の取り扱い開始
平成19年 2月	日本政策投資銀行と環境配慮型経営促進事業に対する貸付等に係る業務協力協定の締結
平成19年 7月～	地球温暖化防止行動の一つである COOL BIZ の実施
平成20年 5月～	環境省が推進する「チーム・マイナス6%」への参加(岡山県に本店を置く金融機関では初)
平成21年 6月～	マイカーローン「エコカー特別金利キャンペーン」の実施
平成21年 6月～7月	環境省のライトダウンキャンペーン、「ブラックイルミネーション2009」、「セタライトダウン」ライトダウンキャンペーンへの参加

以上

本件に関するお問い合わせ先

経営企画部(EMS事務局) 河村 TEL 086-221-1405

※ EMS とは、Environmental Management System(環境マネジメント)のことで、EMS 事務局は当社の環境活動の運営に関する事務局です。

経営企画部(広報担当) 藤岡 TEL 086-221-1057